



令和5年度 キックオフの会事例集

～青少年赤十字への意識化を図り、活動を充実させるために～



- ・加盟校の子どもたちが、青少年赤十字への関心・意欲を高めたり、活動を充実させたりするための意識化を図る方途の一つとして、キックオフの会を実施します。
- ・今まで学校で取り組んできたこと、これから取り組もうとすることは、青少年赤十字の活動にもつながっています。自分自身が、何を実践すればよいかを具体的に考えられるようにすることが大切です。
- ・助成指定校では、園児・児童・生徒の皆さんに、どのような場で、どのような話をしていたただけたのでしょうか。各校（園）で行われた『キックオフの会』をご覧ください。

令和5年度 キックオフの会事例校（JRC未来応援プロジェクト指定校）

20万円助成校（園）		10万円助成校（園）		10万円助成校（園）	
1	山県市立伊自良北小学校	12	大垣市立中川小学校	24	山県市立高富中学校
2	郡上市立高鷲小学校	13	養老町立日吉小学校	25	山県市立伊自良中学校
3	郡上市立郡南中学校	14	郡上市立大和西小学校	26	大垣市立東中学校
4	高山市立東小学校	15	郡上市立牛道小学校	27	大垣市立江並中学校
5	みたけ幼稚園	16	郡上市立大中小学校	28	揖斐川町立揖斐川中学校
10万円助成校（園）		17	郡上市立北濃小学校	29	郡上市立高鷲中学校
6	ながもり第二幼稚園	18	多治見市立養正小学校	30	白川町立黒川中学校
7	うぬま第一幼稚園	19	中津川市立落合小学校	31	羽島市立桑原学園
8	岐阜市立常磐小学校	20	飛騨市立宮川小学校	32	岐阜県立大垣桜高等学校
9	岐阜市立長良東小学校	21	下呂市立馬瀬小学校	33	聖マリア女学院中学校・高等学校
10	瑞穂市立西小学校	22	下呂市立竹原小学校	34	高山西高等学校
11	岐南町立北小学校	23	岐阜市立藍川北中学校	35	岐阜県立下呂特別支援学校

学校名をクリックすると該当ページにジャンプします。



でこのページに戻ります



山県市立伊自良北小学校

R5.7.5 (水)
全校集会

担当: 岐阜県支部職員
参加: 児童24名
教職員13名

- 概要
- ① 赤十字の説明
 - ② 青少年赤十字の活動
 - ③ 防災について
 - ④ ウクライナ人道危機
 - ⑤ 伊自良北小学校の取組
「わが町の防災から他人への
やさしさに」をテーマに活動を
進めていく





郡上市立高鷲小学校

R5.4.26 (火)
全校集会

担当:校長・教務主任
参加:児童89名
教職員12名

- ①赤十字とは
- ②赤十字の誕生
- ③赤十字の現在の活動
- ④青少年赤十字がめざすもの

概要





郡上市立郡南中学校

R5.4.17 (月)
全校放送

担当:校長
参加:生徒108名
教職員12名

1

「あなたは、「白地に赤色の十字マーク」の意味を知っていますか？」

白地に赤色の十字マーク(赤十字マーク)は、命を守るための大切なマークです。
世界中で、戦争や紛争で傷つき苦しんでいる人や、その人たちの命を救うために活動している人々を守るために国際的に取り決められた重要なマークです。

このマークのおかげで、世界中でたくさんの人々の命が、救われています。



赤十字マークは、戦争や紛争などで傷ついた人々と、その人々を救済する軍の衛生部隊や赤十字の救護員・施設等を攻撃から守るために使用(表示)するマークです。したがって、紛争地域等でこの「赤十字マーク」を掲げている病院や救護員などには、絶対に攻撃を加えてはなりません。これは国際的な取り決め(ジュネーブ条約)によって厳格に定められています。

攻撃から守るために掲げる赤十字マークは、遠くから見てもすぐわかるように、大きく目立つよう大きき!!



赤十字マークは、戦争や紛争の時に保護するものを表すマークです

赤十字のおこり

スイス人の実業 家アンリー・デュナン



1859年 イタリア統一戦争
4万人の死傷者が打ち捨てられている悲惨な現状

「傷ついた兵士はもはや兵士ではない、人間である。人間同士としてその尊い生命は救われなければならない。」

- (1) 戦場の負傷者と病人は敵味方の差別なく救護すること
- (2) そのための救護団体を平時から各国に組織すること
- (3) この目的のために国際的な条約を締結しておくこと

JRC未来応援プロジェクト指定校



健康・安全 奉仕 国際理解・親善を積極的に推進し子どもたちに豊かな心を育む取組



気づき 考え 実行する

- ①赤十字とは
- ②赤十字の意味
- ③赤十字のおこりについて
- ④指定校に認定されたこととその役割





高山市立東小学校

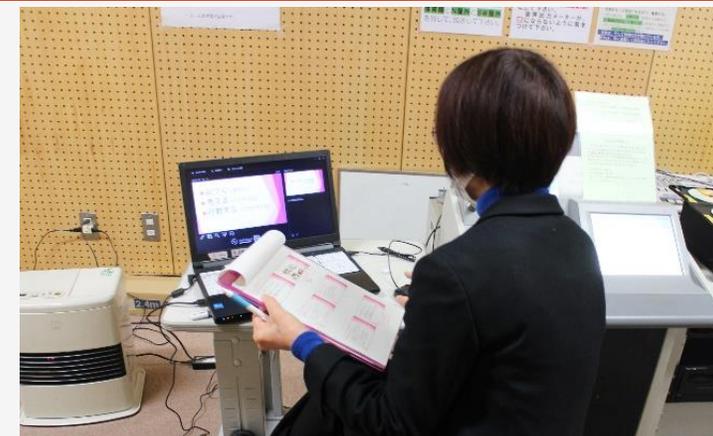
R5.12.25 (月)
校内テレビ全校集会

担当: 教頭
参加: 児童369名

- ・青少年赤十字の事業対象校となったこと
- ・青少年赤十字の概要、実践目標と態度目標の紹介

概要

- ① 赤十字のマーク
 - ② 【健康・安全】【奉仕】【国際理解・親善】
 - ③ 「気づき」「考え」「実行する」
- ・委員会や係活動でも人のためになることを「気づき、考え、実行する」を大切に活動するとよいことを確認





杉山第三学園 みたけ幼稚園

R5.4.18 (火)
全体朝の会 (遊戯室)

担当: 年長担任
参加: 園児145名

- ① 青少年赤十字への加盟
- ② 赤十字旗・赤十字のマーク説明
「ショッピングセンターで献血バスで見た!」
- ③ 赤十字とは
- ④ ハートラちゃん知ってる?
「かわいい!」

概要





学校法人上楽学園 ながもり第二幼稚園

R5.5.25 (木)
春の避難訓練後

担当: 園長
参加: 園児23名
教職員6名



○赤十字のマークを見たことがあるかな
「お医者さん」「病院」「救急車」

○みんながいつも頑張っていることを続けていこう
・命をたいせつにすること
・元気に遊ぶこと
・お家の人、友だちや先生と仲良くすること

〈園庭のテントの紹介〉

〈青少年赤十字の活動の紹介〉

「いのちと健康」「みんなとなかよく」

概要





杉山第三学園 うぬま第一幼稚園

R5.4.20 (木)
朝の会

担当:主任 樽本先生
参加:園児249名

① 青少年赤十字の旗、寄贈授与

② 赤十字とは

③ 赤十字のマークについて

概要

- ・園長先生から青少年赤十字の旗を日本赤十字岐阜から寄贈いただいたことの説明
- ・赤十字のマークを見ると子供たちからは「知ってる。」「イオンにバスが停まってるよ。」「あれって血を困ってる人にあげるんだよね。」と声が上がりました。





岐阜市立常磐小学校

R5.4.19 (水)

校内放送

担当:校長等

参加:児童317名

教職員23名



概要

- 1 赤十字について
→ 本校が未来応援プロジェクト指定校であること
 - 2 「気づき、考え、実行する」ことで、自分の命を自分で守ることを日常化すること
→ 青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」を視聴
→ 緊急地震速報が鳴ったり、地震に遭ったりしたときのキーワードを確認
- 「おちてくるもの・たおれてくるもの・うごいてくるもの」をよく見て、5秒でポジショニング!





岐阜市立長良東小学校

R5.6.18 (日)
朝の会 (オンライン)

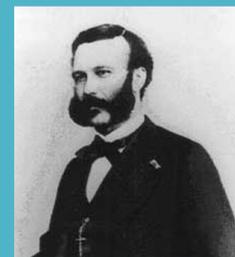
担当: 教頭
参加: 児童206名
教職員11名

- ① 赤十字について
- ② アンリー・デュナンについて
- ③ 青少年赤十字について
- ④ 青少年赤十字100周年について
- ⑤ 青少年赤十字が大切にしていること
実践目標と態度目標
- ⑥ 長良東小で大切にしていること
- ⑦ 防災学習について

概要

せきじゅうじ 赤十字とは・・・

- ◇ スイス人 
- ◇ 戦争で傷ついた人々を助けたい
- ◇ 敵も味方もない
- ◇ 人の命を救いたい



アンリー・デュナン

人間を救うのは、人間だ





瑞穂市立西小学校

R5.4.23 (月)
5年1組教室

担当:教頭
参加児童・教職員
30名



- ①赤十字とは
- ②マークの意味と成り立ち
- ③青少年赤十字の活動
- ④西小と赤十字の活動

- ・青少年赤十字の旗の紹介
- ・赤十字文庫があること、これから1年間かけて避難所運営のための学習を始めていくことの紹介
- ・西小の学校目標と青少年赤十字の目標が一致すること

西っ子が、思いやりの心で人に接して助け合う行動をとることは青少年赤十字の目指す姿と一致する! 災害から命を守れる自分になろう!

概要





岐南町立北小学校

R5.6.7 (水)
お昼の全校放送

担当: 教頭
参加: 児童340名
教職員30名



概要

- ・「青少年赤十字」について
- ・児童が命を守る訓練に真剣に取り組む理由。
「自分の命は、自分で守る」
・・・そのために、「気づき・考え・実行する」ことが大切。
- ・いろいろな状況を想定した「命を守る訓練」を実施し、一人一人がどのように自分の命を自分で守るのかを考え、行動に移していくことを年間を通して学んでいく。
- ・学年によっては、教科の学習や総合的な学習の時間に、防災や減災について学習し、それを日常生活の中での気づきや考えにつなぎ、実行に移していけるようにする。





大垣市立中川小学校

R5.10.4 (水)
全校集会

担当:校長、各担任
参加:児童806名
教職員数42名

①赤十字社について説明

②青少年赤十字について紹介

- ・本校が加盟している青少年赤十字から、「JRC未来応援プロジェクト」の指定校として選ばれたことを紹介
- ・目標の一つである「国際理解・親善」のもと、国際理解に関わる活動を実践していくことを説明

③国際理解に関する活動

国際理解の活動の一環で、全校集会によるドイツのシュツットガルトの高校生と一緒に日本の文化を交流。また、各学年で、オーストラリアにあるコーフィールド小学校とビデオ通話を通して、日本とオーストラリアの文化を交流。他国の文化や人々との交流に親しんだ。

概要





養老町立日吉小学校

R6.1.15 (月)
全校集会

担当:校長
参加:児童79名
教職員15名

- ・能登半島地震について
助け合うことの大切さを知る
- ・青少年赤十字とは何か
映像『ハートラちゃんといっしょ!!
「赤十字」と「青少年赤十字」』を見る
- ・日吉小のちかい
青少年赤十字の「ちかい」は,日吉小学校
の教育目標の目指す姿と同じであることに気付く

概要





郡上市立大和西小学校

R5.6.19 (月)
朝活動の時間 各教室

担当:校長

参加:児童39名

教職員8名

- ①赤十字とは
赤十字マークとその意味
- ②青少年赤十字 ~気づき・考え・実行する~
について
- ③赤十字が大切にしている3つ「健康・安全」
「奉仕(福祉)」「国際理解・親善」
そのうちの「奉仕(福祉)」「安全」について
- ④大和西小学校の福祉の学習・活動、安全の
学習・活動について

概要





郡上市立牛道小学校

R5.4.28 (金)
昼の放送・PTA総会

担当: 教頭
参加: 児童76名



- ・赤十字の活動の説明
- ・赤十字社から頂ける補助金で、購入するものについての説明

概要





郡上市立大中小学校

R5.6.6 (火)
全校集会

担当: 校長・児童会担当
参加: 児童112名
教職員10名

① 赤十字の組織や活動について説明

概要

- ・赤十字の歴史的な意義
- ・本校が「JRC未来応援プロジェクト」指定校に指定されたこと

② 青少年赤十字についての説明

- ・本校が「なかよし宣言」を大切にしていること
(集会にて、児童会代表が「なかよし宣言」について説明し、各学年から自分たちの学年の「なかよし宣言」について発表した。)
- ・本校が、全校みんなが「自分の命を自分で守る」ことができるよう防災トレーニングを行っていること





郡上市立北濃小学校

R5.6.9 (金)
朝の全校集会

担当: 教頭
参加: 児童54名

① 青少年赤十字のマークについて

赤十字や青少年赤十字のマークを示しながら、「このマーク、どこかで見たことがないか?」と全校児童に問いかけた。本校では、青少年赤十字より寄贈いただいた簡易テントを運動会やプール学習の際に、さらに、図書室では令和4年度に寄贈いただいた青少年赤十字の読書コーナーが設置されていることを紹介した。写真を示しながら伝えることで、興味をもって聞く児童が多かった。

② 日本赤十字と青少年赤十字について

配布された資料を参考に、日本赤十字の活動や状況について簡単に説明をした。その上で、青少年赤十字の活動について、態度目標「気づき・考え・実行する」と3つの実践目標「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を示しながら、北濃小学校の具体例を挙げて児童に説明をした。

③ 具体例について

「気づき・考え・実行する」の態度目標に照らし合わせて、「健康・安全」「奉仕」「国際理解」の実践目標から、小学生の生活の中で日頃から大切にしていたり、無意識に活動していたりすることがたくさんあるので、その事例を活動場面の写真を通じて知らせた。そして、改めて新しいことに取り組むのではなく、今やっていることに博愛の精神の自覚をもって取り組むことが値打ちのあることだ、という意図をもって児童に伝えた。また、ヘルプマークの意味も紹介した。ほぼ全児童がこのマークを認識していることに驚きを感じた。

「健康・安全」・・・毎日の集団登下校における班長・副班長の働き、掃除

「奉仕・福祉」・・・4年生高齢者体験・車椅子体験、保護者図書ボランティア

「国際理解」・・・ALTとのふれあい、カナダ小学生とのオンライン交流

概要





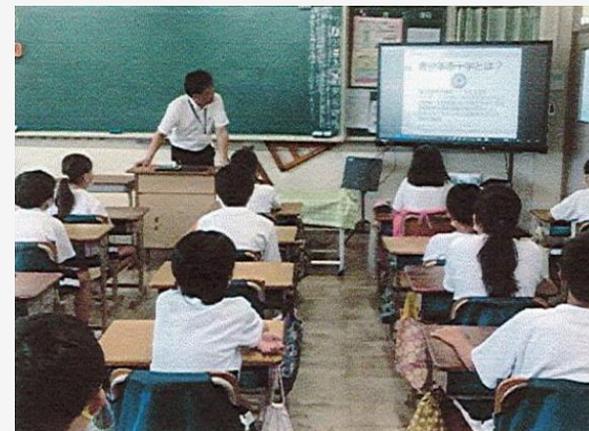
多治見市立養正小学校

R5.7.19,20(水・木)
朝の会

担当:校長・教頭
参加:5,6年生120名
教職員4名

- ・赤十字発足について
スイス人のアンリー・デュナンの精神『人道主義』
について
- ・青少年赤十字の歴史について
戦争で傷ついた人々を慰め励ます活動から始まった。日本でも1922年に結成
- ・青少年赤十字の重点「気づき 考え 実行する」
- ・本校が未来応援プロジェクトに指定されたこと

概要





中津川市立落合小学校

R5.6.12 (月)
朝活動時間

担当:校長
参加:児童25名
教職員2名



- 概要
- ・赤十字社について
(はじまり、理念、活動内容)
 - ・青少年赤十字について
(はじまり、理念、活動内容)
 - ・本校の今年度の活動について





飛騨市立宮川小学校

R5.6.23 (金)
総合的な学習の時間

担当:教務主任

参加:児童3名

教職員1名



概要

- (1) 赤十字とは
- (2) アンリ・デュナンの思い
- (3) 赤十字の基本理念・使命
- (4) 青少年赤十字の活動と目指すもの
 - ①いのちと健康(健康・安全)
 - ②奉仕
 - ③友好・親善(国際理解・親善)
 - ・具現するための態度「気付き 考え 実行する」について
 - ・SDGsとのつながり
- (5) 自分たちにできることは何かを考える。





下呂市立馬瀬小学校

R5.11.16 (木)
全校集会

担当:校長
参加:児童37名
教職員7名

- ・赤十字とは(アンリー・デュナンの功績)
- ・青少年赤十字とは
- ・青少年赤十字が大切にしていること
→赤十字が大切にしていることや願いは、
馬瀬小児童会スローガンの内容と同じで
あり、同じ方向に進んでいること
- ・みんなが幸せになるために自分(達)ができることを「気づき」「考え」「実行」していこう

概要





下呂市立竹原小学校

R5.4.17 (月)など
避難訓練など

担当:校長

参加:児童155名

教職員20名

○赤十字および日本赤十字社について
(歴史等)

○日本赤十字社の取り組み

○青少年赤十字活動

(JRC 未来応援プロジェクト) 参加

○令和6年能登半島地震での
日本赤十字社の活動

概要





岐阜市立藍川北中学校

R5.7~9月 学年集会

担当: 教頭

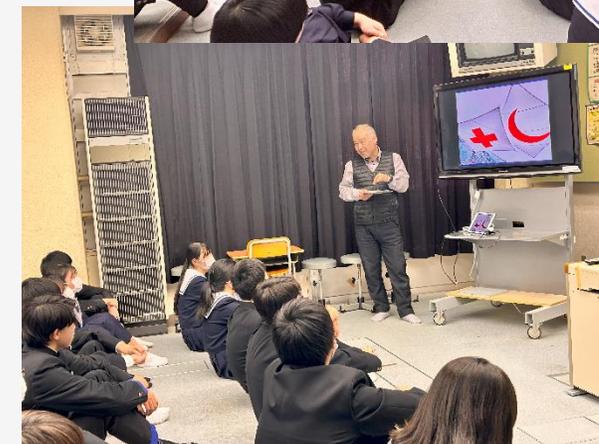
参加: 1年29名・教員1名

2年36名・教員1名

3年45名・教員5名

- ・赤十字の歴史と旗の意味
- ・防災学習でお手伝いいただいた日赤奉仕団
- ・寄付されたテントや献血活動、岐阜日赤病院の紹介
- ・ニュースなどで報道されている赤十字の活動の紹介
- ・自分たちの学習への援助について

概要





山県市立高富中学校

R5.9.21 (木)
命を守る訓練全体会

担当:教頭・日赤職員

参加:生徒402名

教職員34名

- ①赤十字とは
- ②青少年赤十字について
 - ・大切にしていること
 - ・具体的な活動内容
- ③JRC未来応援プロジェクト
指定校になったことについて

概要





山県市立伊自良中学校

R5.6.19 (月)
給食時 ランチルーム

担当: 教頭

参加: 生徒71名

教職員12名

① 赤十字の説明

概要

- ・ 赤十字の歴史と目的
- ・ 私たちと赤十字の関わり

② 日本赤十字社の取組や活動についての説明

- ・ 日本赤十字社の社会貢献
- ・ 指定校としての今後の取組
- ・ 今、わたしたちにできること





大垣市立東中学校

R5.11.10 (金)
2年生各学級

担当:2年生担当
参加:生徒219名
教職員10名



概要

1. SDGsについて
2. 貧困とは何か
3. プノンペンの360度映像を視聴し、カンボジアの雰囲気と基本情報を知る。
4. 360度映像を通してカンボジア農村での暮らしを知り、感じたことを表現する。
5. サムナンさんのこれまでの暮らしを知り、自分と重ねて考える。
6. サムナンさんの現在の暮らしを知り、困難を乗り越えてきた姿勢や考え方を学ぶ。
7. 授業を通して学んだことをグループで共有する。

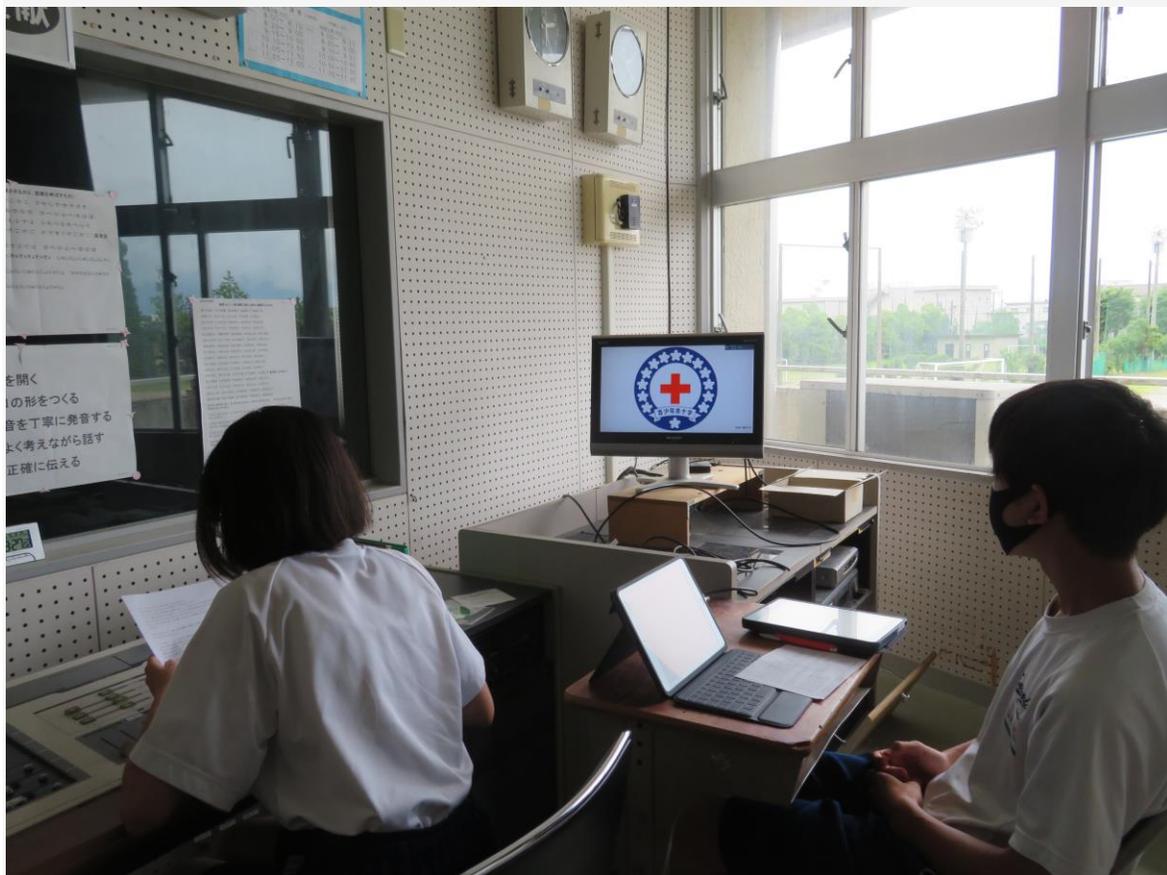




大垣市立江並中学校

R5.6.15 (木)
オンライン全校集会

担当: 生徒会担当
参加: 生徒300名
教職員31名



- (1) 赤十字について
- (2) 青少年赤十字の活動
- (3) 赤十字が大切にしていること
「気づき、考え、実行する」について
- (4) 江並中人権宣言と青少年
赤十字との関わりについて
- (5) 江並中人権宣言に基づく課題
と成果

概要





揖斐川町立揖斐川中学校

R5.6.26 (月)
放課後オンライン配信

担当: 人権担当
参加: 生徒261名
教職員11名

青少年赤十字とはなにか、マークに込められた願いについて紹介

概要





郡上市立高鷲中学校

R5.5.18 (木)
全校「総合」

担当:総合担当
参加:生徒87名
教職員14名



概要

- ・赤十字の説明
- ・未来応援プロジェクト指定校について
- ・今年度の活動の説明、確認
 - ◇「第1回高鷲ふるさとDAY」の実施
 - ◇たかすふるさと祭り出店
 - ◇高鷲ジュニア文化祭
 - ◇郡上おどり発表会参加
 - ◇高鷲ぎゅっとTシャツ拡大
 - ◇学校花壇再生プロジェクトの実施





白川町立黒川中学校

R5.4.24 (月)
全校集会

担当:教頭
参加:生徒29名
教職員9名



- ・青少年赤十字の活動内容
- ・赤十字の取組 概要
- ・昨年度の学校活動と青少年赤十字との関わり
- ・本年度の青少年赤十字事業と学校活動との関わり





羽島市立桑原学園

R5.5.1 (月)
朝の会 (Zoom開催)

担当: JRC担当教諭
参加: 全校児童157名

概要

1. 赤十字のマーク
2. 赤十字の始まり
3. 赤十字の国内外での活動
4. 学校で取り組むこと
5. テント紹介





岐阜県立大垣桜高等学校

R5.5.8 (月)
福祉科科集会

担当:福祉科主任
参加:生徒91名
教職員7名

①赤十字や青少年赤十字とは

・青少年赤十字は、赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて命と健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的として活動している。青少年赤十字は、JRCといひジュニア・レッド・クロスを意味し、福祉科の生徒は全員JRCに加盟し、その一員として活動に参加していく。

概要

②モニター校での活動について

・今年度は、「福祉社会の課題の架け橋に～自ら考え行動できる人を目指して～」をテーマに、JRC未来応援プロジェクトの一環で、さまざまな活動を展開していく。防災学習や校外研修を通じて、福祉社会の担い手となれるよう幅広い視点をもつことができるよう、日常生活でもアンテナを高く張ってほしい。





聖マリア女学院中学校高等学校

R5.6.14 (水)
中学1年生福祉練成会

担当: JRC委員会顧問
参加: 生徒70名
教職員4名



概要

- ・福祉の意味
- ・JRCという言葉や機関の存在
- ・本校が福祉活動として行っている「まごころ募金」について





飛驒学園 高山西高等学校

R5.6.8 (木)
お昼の全校放送

担当: 校長 養護教諭
保健委員長
参加: 生徒555名
教職員52名

- ・JRC未来応援プロジェクト指定校に認定されたこと
- ・JRC未来応援プロジェクト活動の趣旨、どのように関わって活動していくのか。
- ・実践目標について、安全・安心な学校生活—換気について考え、1分間換気をしよう。

概要

- 1) CO2モニターを使用して、CO2濃度の測定、PM2.5、PM10、揮発性有機化合物、湿度、気温等を調べる。(各階ごとに教室の空気を調査、冷房時、暖房時)
- 2) 人体に及ぼす影響を調べる。
- 3) 測定結果をグラフ化する。掲示物の作成。
- 4) 教室内汚染と換気的重要性を発表。
- 5) 換気の呼びかけ、実践。





岐阜県立下呂特別支援学校

R5.10月
学部集会

担当:保健体育主任
参加:高等部15名

赤十字とは何か
モニター校になったことについて

概要

- ・集会の中で赤十字について伝えるとともに、本校の取組について知ることができた。

